

◎特集1

200億を超える「積極型予算」を編成 平成23年度がスタートします！

今年度は、第4次岡谷市総合計画の3年目。

前期基本計画の目標達成に向けて、力強い助走から、大きくはばたく段階を迎えています。

厳しい経済状況のなか、限られた財源をどう生かし、何を実現していくのか…。

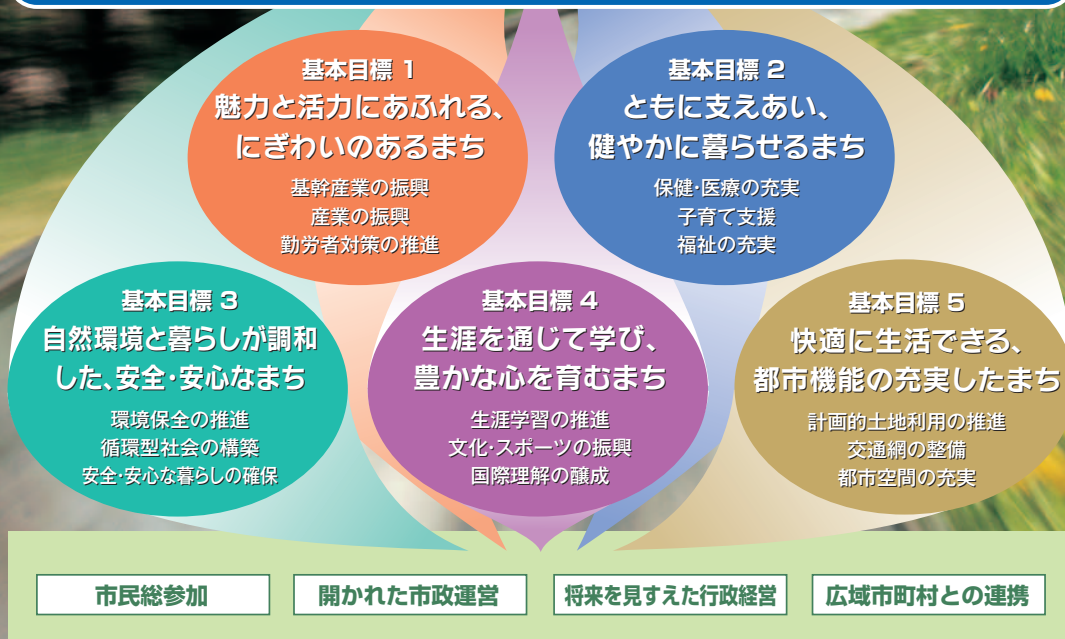
市は3つの重点施策を掲げ、前向きな選択と集中により、緊急度を踏まえて予算を配分。

新病院建設をはじめとする重点事業の推進に、市民との協働で取り組みます。

みんなで力を結集し、ともに「みんなが元気に輝くたくましいまち岡谷」の実現をめざしましょう。

「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」

第4次岡谷市総合計画 5つの基本目標



推進に向けて

3つの重点施策

たくましい産業の創造

輝く子どもの育成

健やかで安らぎのある
暮らしの実現

おもな事業と予算のあらまし

2 輝く子どもの育成

- 医療費(入院、通院)無料の対象年齢を引き上げ、家庭の負担を軽減する
「乳幼児等医療費給付事業」(拡充)
1億3,141万円
給付対象を中学3年生までに拡大し、子育て支援を充実
- 専門員が障害児支援と保育園の運営、指導などを担当
「保育園育成支援コーディネーター設置事業」
267万円
障害児の保育と円滑な就学準備を総合的にフォロー
- 不登校をはじめとする子どもの問題に向き合う
「子ども総合相談センター設置事業」 280万円
教育委員会内に相談員を配置し関係機関と連携。総合的な指導を充実
- 子どもが安全に安心して遊べる場所を地域で構築する
「放課後子どもの居場所づくり推進事業」(拡充)
538万円
実施校を市内全8小学校に拡大
- 楽しくスポーツを体験し運動嫌いな子どもをなくす
「おかや小学生体育塾事業」(拡充) 48万円
生涯スポーツに親しみ健康な生活をおくる基盤づくり



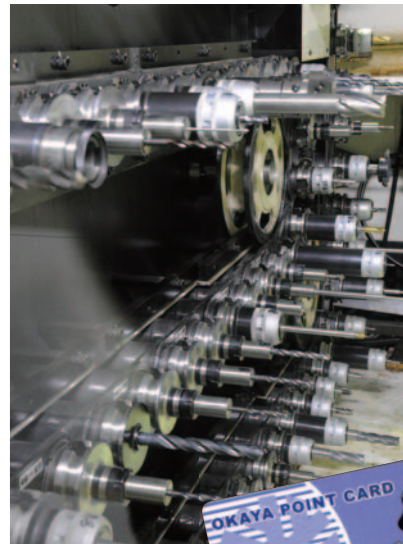
みなと保育園の園児たち



子どもの元気を応援
(放課後子どもの居場所づくり)

1 たくましい産業の創造

- 都内にオフィスを設けて産業を振興する
「首都圏産業振興活動拠点事業」 945万円
常駐職員が情報収集を効率化。
企業誘致、発注元企業開拓などをより積極的に支援
- 販路開拓や受注拡大など海外進出を後押しする
「海外販路開拓支援事業」 300万円
海外市場の調査などにかかる経費を助成
- 高度な製品開発を支援し、企業の技術力、競争力を強化する
「新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業」(拡充) 2,100万円
創造提案枠、一般枠、開発施策枠などで技術支援
- おかぼんカードの普及に取り組む
「おかぼんポイント活用事業」 146万円
市のイベントや補助金にポイントを活用し、商業の振興につなげる



おかぼんカード
(ポイント)を
行政でも活用



岡谷の産業を積極的にアピール
(微細・精密加工展)



4 そのほかのおもな事業

- おかやの評価を高める当地自慢を確立する
「岡谷ブランドマネジメント事業」 1,781万円
工業、商業、農業、観光、地場産業の振興と歴史遺産の活用
- タブレット端末の軽快さや拡張性を行政サービスに生かす
「スレートPC活用研究事業」 126万円
キーボードのない机上ベタ置きタイプのPCで高度情報化に対応
- 地域交通をもっと便利にやさしくするための「岡谷市地域公共交通活性化・再生総合事業」 2,770万円
交通弱者の保護や環境を視野に、シルキーバスの利用拡大など交通体系を見直し

シルキーバス



岡谷ブランドの創出と確立に向けて



3 健やかで安らぎのある暮らしの実現

- 快適で魅力ある新病院の建設を推進する
「新病院整備事業」 8,700万円
平成27年度開院をめざして着手
- 医学部学生支援を医師確保につなげる
「岡谷市医師確保対策事業」 500万円
奨学金や就業支援で医師不足を回避し地域医療を充実
- 健康づくり事業をPRする
「健康営業マン(周知啓発)事業」 マンパワー
健康教室への参加や検診受診率アップで市民を健康に
- 住環境の改善と小規模住宅関連業者を支援する
「住宅リフォーム助成事業」 1,000万円
助成額のおかぼんポイント支給(選択)により市内店舗の利用も促進



健康づくりの集い

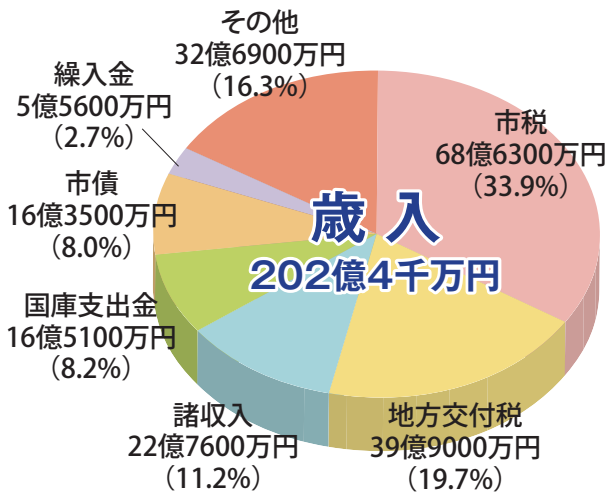


心臓カテーテル

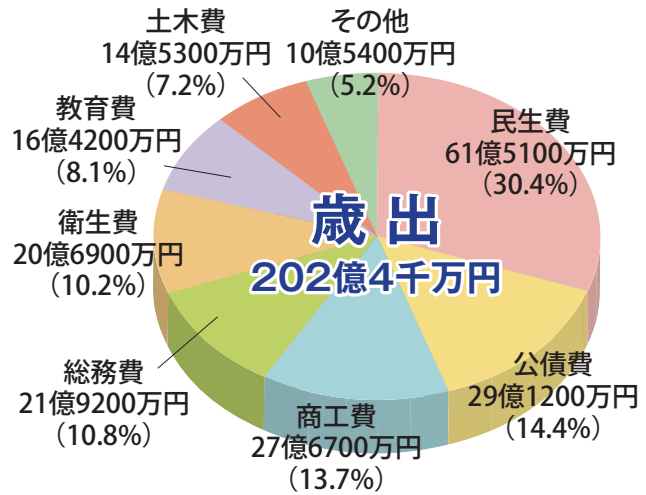


平成23年度予算

◆歳入(市の収入) ※()内は構成比



◆歳出(市の経費) ※()内は構成比



◆平成23年度予算一覧 ※前年度比較の△印は、減額を意味します

会計名		予算額	前年度比較
一般会計	民生費	61億5,100万円	3億円
	公債費	29億1,200万円	△2,200万円
	商工費	27億6,700万円	△3億5,900万円
	総務費	21億9,200万円	4億4,600万円
	衛生費	20億6,900万円	2億2,800万円
	教育費	16億4,200万円	2億3,900万円
	土木費	14億5,300万円	△2億6,500万円
	その他	10億5,400万円	7,300万円
	計	202億4,000万円	6億4,000万円
特別会計	国民健康保険事業	48億8,560万円	8,330万円
	地域開発事業	4億7,670万円	△5,120万円
	分収造林事業	2,060万円	△1,720万円
	霊園事業	1,420万円	0円
	老人保健事業	0円	△460万円
	温泉事業	3,440万円	1,690万円
	訪問看護事業	3,920万円	250万円
	後期高齢者医療事業	6億1,680万円	△20万円
	計	60億8,750万円	2,950万円
湊財産区一般会計	340万円	△60万円	
企業会計	水道事業	11億8,343万2千円	△9,101万円
	下水道事業	28億4,241万7千円	5,283万8千円
	病院事業	71億3,045万1千円	△3億1,612万2千円
	計	111億5,630万	△3億5,429万4千円
合計	314億6,057万5千円	6億3,347万6千円	

※企業会計の金額は、収益的支出と資本的支出の合計です。

問合せ●財政課(内線1531)・企画課(内線1521)